

海外に学ぶアクティブシニアの住まい

第2回 ゴルフ三昧の老後にご用心!

～知的刺激が老化を防ぐ～



三菱総合研究所 フラチナ社会研究センター 松田智生主任研究員

慶應義塾大学法学部卒業。1991年三菱総研入社。専門は新産業創造、組織活性化。2010年新たな政策提言プロジェクト「フラチナ社会研究会」立ち上げ。シルバードよりも上質なフラチナ社会・産業像を研究。

年齢の理想郷と思われ
たりタイアメント・コ
ミュニティにも盲点が
あった。

第一に世
代の偏り
だ。若者の
非行や喧騒
を避け、原
則高齢者た
けの街としたが、「高
齢者だけ」、「若者不
在」、「世代交流がな
い」ことは結果的に街
の活気と多様性を損な
うことになった。

第二に知的刺激の不
在だ。気候温暖、ゴル
フ三昧、ストレスフリ
ーの快適過ぎる環境
は、頭や神経を使わな
いことから、急速に衰
えてアルツハイマー病
を患うおそれがある。
高齢者は体の元気だけ
でなく頭の元気が必要
なのだ。

大学連携型

リタイアメント・コミュニティ

大学の敷地内や近隣に
設置され、大学での多
様な生涯学習で知的刺
激を得ることができ
る。また学びを通じた
仲間とのつながり、
「知縁」もできる。高
齢者は、歴史や文学、
昔から学びたかった分
野、これから学びたい
分野を勉強して、老後
のキャンパスライフを
充実したものにしてい
る。

この大学連携型リタ
イアメント・コミュニ
ティは1980年代か
ら開発が始まり、AA
で、入居条件として年
間450時間以上の
カレッジの講座を受講
することが挙げられて
いる。現在約200人
のシニア層が居住し入
居待ちのシニアが多数
いる。

具体的な取り組み

イアメント・コミュニ
ティは1980年代か
ら開発が始まり、AA
で、入居条件として年

間450時間以上の
カレッジの講座を受講
することが挙げられて
いる。現在約200人
のシニア層が居住し入
居待ちのシニアが多数
いる。

間450時間以上の
カレッジの講座を受講
することが挙げられて
いる。現在約200人
のシニア層が居住し入
居待ちのシニアが多数
いる。

前回のコラムでは米
国で高齢者が退職後の
生活を満喫する元氣シ
ニアの街、リタイアメ
ント・コミュニティを
紹介したが、今回はそ
の新しい潮流として
「大学連携型リタイ
アメント・コミュニティ」
を紹介したい。

◆ゴルフ三昧生活の光 と影

第一世代のリタイア
メント・コミュニティ
は、アリゾナやフロリ
ダの温暖な気候の地で
ゴルフや遊び中心の住
まい方が基本コンセプ
トだった。しかし、高

◆第三世代の「ミニ 大学」の連携

第一世代のコミュニ
ティの課題である「世
代の偏り」と「知的刺
激の不在」を解決した
のが、第二世代の大学
連携型コミュニティ
だ。
コミュニティはゴル

図1 米国のリタイアメント・コミュニティ
第一世代と第二世代の比較

	第一世代	第二世代
場所	温暖な地域	全国(温暖な場所に限定せず)
中核施設	ゴルフ場	大学
ライフスタイル	ゴルフ三昧、遊び中心	生涯学習、知的刺激
居住者	高齢者のみ(若者代不在)	高齢者と近隣の多様な世代

図2 第二世代の主な大学連携型リタイアメント・コミュニティ

大学名	名称	所在地
ラッセルカレッジ	ラッセル・ビレッジ	マサチューセッツ州
イサカカレッジ	イサカコミュニティ	ニューヨーク州
デューク大学	フォレスト・アット・デューク	ノースカロライナ州
スタンフォード大学	クラシック・レジデンス	カリフォルニア州
ダートマス大学	ケンダル・アット・ハノーバー	ニューハンプシャー州

ゴルフ三昧だけの生
活は頭の老化にご用心
だ。生涯学習で再びキ
ャンパスライフを楽し
むことがアクティブシ
ニアの新たな潮流だ。
今回は、筆者が訪問し
た大学連携型リタイア
メント・コミュニティ
を詳しく紹介したい。

◆◆◆

ゴルフ三昧だけの生
活は頭の老化にご用心
だ。生涯学習で再びキ
ャンパスライフを楽し
むことがアクティブシ
ニアの新たな潮流だ。
今回は、筆者が訪問し
た大学連携型リタイア
メント・コミュニティ
を詳しく紹介したい。